

概要版【外国語科】 教科書をきっかけにして、題材を自分事として捉え、 自分の考えを表現することができる生徒の育成

～単元のゴールとなる言語活動から逆算した単元構想と一単位時間の中で題材を身近に感じられる工夫を通して～

令和7年度 前橋特別研修研究員
前橋市立南橋中学校 清水 彩

研究の目的

「単元のゴールとなる言語活動から逆算した単元構想」と「一単位時間の中で題材を身近に感じられる工夫」を通して、教科書をきっかけとして、題材を自分事として捉え、意見を持ち表現できる生徒の育成を目指す

目指す生徒像

教科書をきっかけに、題材を自身の経験や関心とを結び付けて、広げたり、深めたりして捉え、自分の考えとして表現することができる生徒

〔手立て1〕単元のゴールとなる言語活動から逆算した単元構想

手立て1の①

単元のゴールとなる言語活動での生徒の姿を想定



手立て1の②

様々な立場の人の意見を知る機会の設定

手立て1の③

教科書の題材に対する
既有的知識を揺さぶる問いの設定

手立て1の④

伝えたいという相手意識・目的意識を持たせるための単元のゴールとなる言語活動の提示

手立て1の⑤

教師による目的・場面・状況を明確にした単元のゴールとなる言語活動の設定

- ① 生徒がやってみたいと思えるような目的・場面・状況を工夫した単元のゴールとなる言語活動の設定
- ② 自分事に捉えられるようにするために、生徒の考えに揺さぶりをかける工夫

〔手立て2〕一単位時間の中で題材を身近に感じられる工夫

Chat, Oral Interaction, 振り返りを生かして

Chat

「教師が話題を示し生徒がペアで行う即興の対話活動」

- ・ 題材に関連する話題を提供
- ・ 対話後に「言いたかったけれど言えなかったこと」を全体共有



Oral Interaction

「教師と生徒が英語を用いて題材について対話をし、考えや情報をやり取りする活動」

- ・ 生徒の日常や関心事と教科書の題材を結び付ける働きかけ
- ・ 既有的知識や新情報、視覚的資料を用いた知的好奇心を高める働きかけ



振り返り

「単位時間において、題材に対する考えや気付き、自分事としての捉えを振り返りシートに記録する活動」

- ・ 振り返りの視点の提示と、自分事として捉えられているかの学びの蓄積の見取り
- ・ 毎時間の授業を通して、題材について新たに考えたこと・気付いたことを記録できるようにする支援

生徒の実態

- 教科書本文の内容理解に留まり、題材を深く掘り下げて捉えるまでには至っていない生徒が見られる。
- 題材を自分の経験や関心と結び付けて考えたことを英語で表現することに課題が見られる。

指導上の課題

- 教科書本文の理解のみに留まらないよう、題材と自分の経験や関心と結び付けた指導が十分ではなかった。
- 単元のゴールとして自分の考えを表現する際に、即興で伝えられるようにはなったが、より深い考えを表現することに難しさを感じている。
- 単元のゴールとなる言語活動を見通し、毎時間の授業を積み重ねていく指導が不十分であった。

【手立て1】単元のゴールとなる言語活動から逆算した単元構想

単元のゴールとなる言語活動と自分事にする場面の設定 (第1～10時)

中学3年 Unit4 AI Technology and Language (Here We Go! ENGLISH COURSE3)

【Unit 4 単元のゴールとなる言語活動】
「自動翻訳機が普及してもなお英語を学ぶ意義」を考え、
後輩に向けたメッセージビデオを作成し、見てもらう！

【第9時】言語活動
「外国人と働くため」
「日本にいても外国人と働く
可能性があるため」
「自分の言葉で英語を話すため」

【第1時】
教科書の題材に対する
既有的知識を揺さぶる問いの設定
「AIの利点を肯定したうえでの質問
提示」

【第5時】
様々な立場の人の意見を知る
機会の設定
「校長先生やALTの外国語を
学ぶ理由の提示」

【第7時】 chat
「外国人の友人を作るため」
「外国人と働くため」

生徒A【第9時 振り返り】
「英語を学ぶ理由が改めて
自分の中でわかった。
新しい発見があった。」

【第4時】 chat
「海外旅行に行くため」
「入試に合格するため」

【第4時】
様々な立場の人の意見を知る
機会の設定
「自動翻訳機を活用した社内
研修映像の提示」

【第6時】
様々な立場の人の意見を知る
機会の設定
「企業が英語を社内公用語に
した理由の映像の提示」

「英語を学ぶ理由」の生徒Aの発話の変容

は、生徒の考えに
揺さぶりをかける工夫

【手立て2】一単位時間の中で題材を身近に感じられる工夫

一単位時間における3つの活動のつながりと生徒の様子 (第6時)
【めあて】「英語を学ぶ理由について、自分の考えを整理して話すこと」

は、生徒Bの思考の流れ

私は、英語を学ぶ必要性につ
いて外国の映画を見たいと思っ
ていたけど、Cさんは外国でサ
ッカーをしたいからなんだ

Oral Interaction

If I study English...

- I may work with foreigners in Japan. (Haru)
- I may work with people who come from other countries. (Haru)
- I can talk with foreigners in my own words. (Sano)
- I can learn new information and ideas. (Fuy)
- I can learn new words and expressions, and life will be more interesting. (Rei)

同じように「外国語学習が必要」と考えていても、人によっ
てその理由が違うな

外国で働くのもいいな

Chat

【本時のChatで考えた
生徒Bの発話】
「外国の映画を見たいから」

言いたかったけれど言えな
かった内容を共有し、英語
表現を補う支援を行った

前時の振り返りを踏まえ、生徒の振
り返り「日本で働く場合でも外国人と関
わる可能性がある」という新たな視点
を生徒に意図的に提示した

【後半の教師とのやり取りで
の生徒Bの発話】
「外国に行きたいから」
「海外旅行に行きたいから」
「海外でメイクアップアー
ティストになりたいから」

生徒の考えの変化を可視化し、単元の
ゴールにつなげるため、「振り返りシート」
に題材に関する視点を設定した

言語活動中に、生徒Bの考えの
変容(興味関心に基づく理由から将来
像と結びついた理由への広がり)に気
付き、他の生徒にも知ってほしい視点
として意図的に指名した

振り返り

生徒Bの題材に関する振り返りシートの記述

本文の読解と友達と協力して行ってきた。また、chatで自分の考えを
伝えられ、より深く質問することができた。仕事や旅行だけでなく、人の
コミュニケーションを楽しく行いたいために英語を勉強したいと思っ
てきた。

成果と課題

- 単元のゴールとなる言語活動から逆算して単元を構想したことで、生徒は、確実にステップを踏みながら、題材について考えたことを蓄積し、単元のゴールとなる言語活動に向かうことができた。
- Chat、Oral Interaction、振り返りの3つの活動を一単位時間の中で関連付けて行うことで、題材について生徒の考えを広げたり深めたりすることができた。
- ◇ 思考の深まりには個人差があり、多様な意見を自分の考えに結び付ける点に課題が残った。今後は、異なる視点を比較・関連付けながら、反対意見や別視点も含めて考えられる問いを設定し、思考の深化を促したい。
- ◇ 言語活動の設計と振り返りの効果的な活用を通して、生徒の思考の深化と表現力の向上をさらに図っていきたい。